

教科書には
載っていない

臨床検査Q&A

教科書には書いていないけれど、
知っていると差がつく
知識やテクニックの数々。

Question 48

免疫染色の濃淡(染め上りの強弱)は結果の判定にどのような影響を与えますか?

回答: 伊藤 仁
(東京大学医学部付属病院病理検査科)

ポイント

免疫染色の判定は、原則的に「陽性」は陽性が陽性であるが、染色濃度が高い場合や、背景染色が濃い場合の判定が難しい。免疫染色の濃淡(染色強度)は、染色時間、染色濃度、染色液の濃度、抗体の種類、抗体濃度、検体固定法などにより大きく左右される。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。

Point

免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。

Question 5

リンパ系腫瘍のWHO分類2008(第4版)の改訂点と診断のポイントについて教えてください

回答: 新津 望
(埼玉医科大学国際医療センター病理検査科)

ポイント

リンパ系腫瘍は、B細胞性腫瘍、T/NK細胞性腫瘍、Hodgkinリンパ腫に分類される。免疫染色は、免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。

Point

リンパ系腫瘍は、B細胞性腫瘍、T/NK細胞性腫瘍、Hodgkinリンパ腫に分類される。免疫染色は、免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。免疫染色の濃淡(染色強度)は、結果の判定に大きな影響を与える。

ベテランの執筆陣が
現場の疑問に答えます!

2012年10月5日
発行予定

厳選した質問に1問1答、
読めば検査のツボがわかる!



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
[販売部] TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804
E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら

